

北九州テクノサポート通信

Kitakyushu Techno-Support

北部九州・山口地域の産業発展に貢献する



NPO法人 北九州テクノサポート

〒804-0003北九州市戸畑区中原新町2番1号
TEL:093-873-1453 FAX:093-873-1453
E-Mail:info@npo-kts.org URL:http://www.npo-kts.org/

Vol.36

2021年冬号



新年のご挨拶

NPO法人 北九州テクノサポート 会長 吉田 剛

初春のお慶びを申し上げます。

皆様、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。



昨年は2月ごろから新型コロナウイルスの蔓延に世界中が社会活動も制約され経済も未曾有の悪化を余儀なくされる事態に追い込まれました。その影響は今も続いております。東京オリンピックの延期や様々なイベント中止の動きは、人々の心にも活動自粛のマインドを植え付け、社会全体が沈滞したムードになっております。本年はワクチン等の開発も進み、これらの制約が取り外される明るい時代になるように願っております。

当法人も昨年は密を避け、会合も遠隔でのWeb会議に切り替えました。人々の移動・集りを最小限に抑えることになり、活動を制約された1年でした。一方、情報技術の発展により、これらのツールを活用して活動を継続できるような明るい兆しも見えたと思います。本年はこれらの情報技術を有効に活用し、これまで以上に活発な展開が出来ればと思います。

さて、超高齢化社会と呼ばれる今日、シニア中心の当法人は様々な

社会課題への取組として、生涯現役を志し、経験に裏打ちされた様々な知恵を糧に技術領域の課題に取り組んでいます。今年も、会員のチャレンジ精神を引き出し、横連携を強化しながら地元の企業の現場を良く知り、関係機関と協力しながら勤所を押さえた課題解決に取り組んで行く所存です。

本年は以下のような重点テーマを掲げ、地域の課題解決に取り組めます。

- (1) 内部の横連携による対外支援サービス
 - (2) 新技術への対応力の強化や会員の能力向上
 - (3) 関係機関との連携を強化し、新体制を活かした新規受注業務の拡大
- 当法人の活動は地域の関係機関・企業様のご支援の上に成り立っています。当法人をご活用いただき、共に成長する地域の技術コーディネートパワーとして、本年もご愛顧いただければ幸いです。

末筆ながら、本年が皆様にとりまして最良の年となりますよう祈念しご挨拶とさせていただきます。

Topics 1. 「製造業のDX (デジタルトランスフォーメーション) 推進」

IT活用支援グループ長 影山 隆雄 理事

DXは、2004年、スウェーデンのウメオ大学、エリック・ストルターマン教授により提案された概念です。近年では、「最新のデジタル技術を駆使した、デジタル化時代に対応するための企業の変革」という意味合いのビジネス用語として使われています。

経済産業省も2018年に、日本企業がDXを進める動きを加速すべく、「DX推進ガイドライン」を発表しました。企業がDXに取り組むべき主な理由は、1) 既存システムの老朽化・ブラックボックス化、2) 消費行動の変化、そして3) デジタル化によるビジネス環境の激変の3つが挙げられます。

しかし現状では、DXがなかなか進まない企業も多い中、すでにDXの取り組みを始め、成果を出している企業も存在します。富士通は、2019年に世界9カ国のビジネスリーダー900人を対象とした調査を行い、「グローバル・デジタルトランスフォーメーション調査レポート2019」にまとめました。実践して成果を挙げたと回答した企業の割合は、業種別では、金融業で47%、運輸業で45%、製造業で32%、卸売/小売業で29%が成果を上げたと答えており、製造業や卸売/小売業は、金融業や運輸業に比べて工程の複雑さからDXにおいて難しさを抱えていることが分かります。

我が国の製造業DXの成功事例として、駿河精機(株)が挙げられます。同社の事業内容は精密位置決めステージを始めとする産業機器の開発製造・販売です。製品の市場特性は受注生産、しかもほぼ単品設計製造販売に近いので、短納期で対応が難しい状況にありました。

そこで、同社は2013年からDXに取り組み人工知能AIによる加工条件の自動最適化を含めた図に示すCPS(サイバー・フィジカル・システム)を構築し、人手に頼っていた工程を全てデジタル化して、2018年には、納期を従来の1/6の3日に短縮することに成功しています。駿河精機(株)のCPS構築には、北九州のミシマOAシステム(株)が大きく貢献しています。

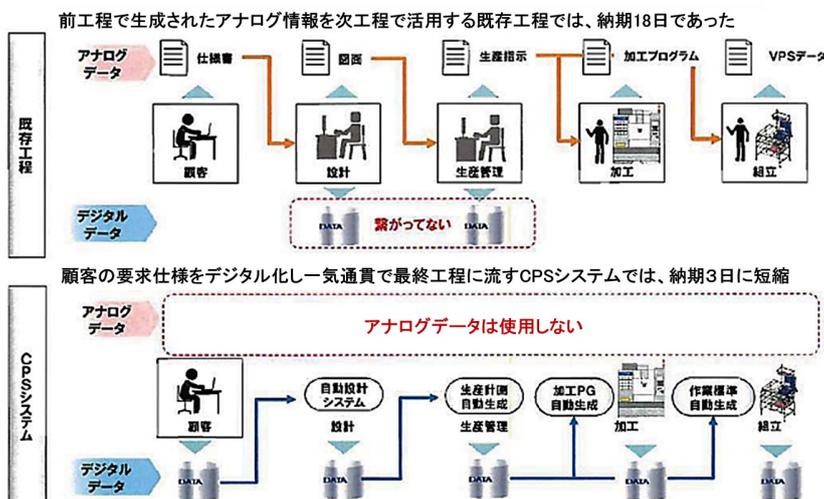


図 駿河精機の既存工程とCPSシステムの比較

図の出典:九州経済産業局主催の駿河精機(株)本社工場見学会配布資料(2018年3月)

謹賀新年



特定非営利活動法人
北九州テクノサポート
正会員一同
2021年(令和3年)

【賛助会員一同】 大光炉材(株)、(株)有菌製作所、(株)コーセイジャパン、(株)千草、(株)豊洋製作所、(株)エステック21、(公財)北九州活性化協議会、(公財)北九州観光コンベンション協会、(有)やまもと、(株)カンノ製作所、九州鉄道機器製造(株)、(有)ICS SAKABE (入会順・敬称略)
【協賛会員一同】 7社(各ページの広告欄参照) 会員概要は<http://www.npo-kts.org/> を参照下さい。

新年の挨拶



2021年(令和3年) 新年の挨拶 北九州市長 北橋 健治

「文化芸術・スポーツの力で、にぎわいと活力を取り戻し、日本で一番住みよい街へ」

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るう中、本市では、検査、医療、保健所の体制整備・強化や事業継続と雇用維持のための支援など、感染拡大防止対策と経済対策にスピード感をもって取り組みつつ、「東アジア文化都市北九州」の関連事業などを開催しました。

今年も、感染拡大防止と社会経済活動を両立し、多様な取組を進めます。

まず、暮らしの面では、子ども医療費支給制度の拡充、待機児童対策など、「子育て日本一を実感できるまち」の実現に努めます。教育では、子どもたちの学びを保障する環境を整備します。また、暴力追放運動などを推進し、日本トップクラスの安全・安心なまちを目指します。

次に、産業振興の面では、風力発電関連産業の総合拠点化や北九州空港の機能強化と利用促進など、戦略的なプロジェクトを着実に進めます。また、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、環境と経済の好循環により、国内外の脱炭素に貢献する「北九州モデル」を構築し、グリーン成長を推進します。

文化芸術の面では、「東アジア文化都市北九州」を引き続き開催し、東アジアとの文化交流を深めます。

スポーツの面では、史上初の同時開催となる「世界体操」「世界新体操」を開催します。

今年も、これらの取組により、まちなにぎわいと活力を取り戻し、地域経済の早期回復・再生を図ります。また、コロナ禍がもたらした働き方の変化などの新たな動きを捉え、DXを推進し、地方創生やSDGs達成に向けた取組をさらに加速することで、「日本で一番住みよい街」の実現に向けて全力で取り組みます。

新春放談 北九州の新年を語る

(順不同)

■ TOTO株式会社 代表取締役 社長執行役員 清田 徳明

新年明けましておめでとうございます。

2020年は新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、多くの方が罹患され、亡くられる方も多数に及んでいます。

お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、医療関係者をはじめ、対応・対策にご尽力されている皆様に、深い謝意を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、当社においてもロックダウンによる生産拠点の操業停止やショールームの臨時休館など、大きな影響を受けました。

しかし一方で、世界的な衛生への関心の高まりは、タッチレス水栓や大便器自動洗浄・便座オート開閉など非接触商品の需要拡大へとつながってきています。また、米州ではトイレトーパー不足をきっかけとして温水洗浄便座が注目され、30年あまりの米州での活動と相まって、「ウォシュレット」販売は好調に推移しています。

日本では、おうち時間の増加により、快適な住環境を求められるお客様のリフォーム需要増にこたえるため、リフォームに対するお困りごとや不安を取り除き「安心」に変えてゆく「あんしんモデル」活動を一層強化し、リフォーム市場の活性化を図ってまいります。

海外においては、引き続きデザイン・機能に優れた商品と充実したアフターサービスでお客様満足を高めてまいります。

変化する世界の中で、しっかりとお客様に向き合い、常に一步先をいく提案をしていくことで、社会から必要とされ、世のため、人のためにお役に立てる企業であり続けたいと考えています。

本年も商品・サービスを通じて豊かで快適な生活文化の創造に挑戦し、世界中にTOTOファンを増やしてまいります。

最後に、北九州テクノサポートの皆様の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

■ 日本製鉄株式会社 九州製鉄所 所長 谷 潤一

新年あけましておめでとうございます。

世界経済は、新型コロナウイルス拡大に伴う経済活動の停滞を受けて大幅な減速となりましたが、昨年の上期をボトムに緩やかに回復の兆しを見せております。また、日本経済も同様に、昨年5月の緊急事態宣言の解除以降、景気は底打ちしたと見られ、製造業を中心に徐々に持ち直しております。

そのような中、2020年の世界の鉄鋼需要は17.2億トンになると想定され、依然として高い水準を維持しており、鋼材市況も上昇に転じていることから、厳しい状況ながら鉄鋼業の事業環境は一時期に比べて好転しています。

しかしながら、コロナウイルスの再拡大に伴う経済停滞リスクや、米中対立の常態化による貿易縮小等の不安要素も備えており、国内外の鉄鋼需要の変化に即した迅速かつ適切な生産対応が必要となります。

そのような中で、弊社は収益基盤強化に向けて、製鉄所組織の再編成や、生産設備の集約等の構造改革を進めております。弊所においても、昨年4月に八幡製鉄所と大分製鉄所、及びチタン事業部光チタン部を統合し、九州製鉄所として生まれ変わりました。また、構造対策の一貫として新型連続鋳造機を新設の上、稼働を開始させており、加えて品種高度化施策として、電磁鋼板の生産設備増強を決定致しました。引き続き、八幡・大分で蓄積してきたノウハウを共有しながら、お客様から選ばれる製鉄所を目指してまいります。

最後になりますが、今後も地域の皆様に信頼される製鉄所であることをお約束するとともに、地域の一員として北九州の発展に尽力していく所存です。北九州テクノサポート会員の皆様には、本年も変わらぬご指導・ご支援を心よりお願い申し上げます。

北部九州・山口地域の企業紹介

地域の産業発展を支える中堅・中小企業様等をご紹介します

■ 賛助会員・協賛会員の広報コーナー

< 製品、技術、開発、人材などに関するPR・募集中 >

NPO-KTS通信 Vol.36 広告1-2



大光炉材は、ユーザーニーズへの迅速・確実なレスポンスをモットーに、独自の技術開発力を武器にダイナミックな展開をしています。

大光炉材株式会社

本社：〒804-0054 北九州市戸畑区牧山新町1-1
TEL: 093-871-1631(代) FAX: 093-883-2151
<https://www.taiko-ref.com/>

経営理念【社是】

私たちは、国家社会を支える重要な仕事をもつことを誇りとし、きびしい自己反省とたゆまぬ創造開発によって会社の発展と人間幸福の実現に努力します。



当社は、「人生にやさしい」福祉・医療器具の総合メーカーです！

■ 当社は、障害児・者及び高齢者の必要とする義肢装具サービスの提供します。

代表取締役 有 蘭 央

〒805-8538 北九州市八幡東区東田1-7-5
TEL:(093) 661-1010/FAX:(093) 661-1670
<http://www.arizono.co.jp/>



新春随想



2021年(令和3年) 新春随想 公益財団法人北九州産業学術推進機構 理事長 松永 守央

新年明けまして、おめでとうございます。

皆様には、日頃から公益財団法人北九州産業学術推進機構(FAIS)の事業に対し、ご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症のまん延という想定外の事態が発生し、みなさまの企業活動におかれましても縮小、停滞を余儀なくされたものもあつたのではないかと推察いたします。

一方でこの困難な状況を克服するために、AIやDXなどを駆使した生産性の向上など多くのことを学んだことと思います。

いま私たちは、ポストコロナの時代に、今回学んだことをどう活かしていくのかという大きな選択の岐路に立ち、多くの分野にわたってニューノーマルを構築する契機になることが期待されています。

FAISは本年で設立20周年を迎えますが、これまで北九州市学術研究都市を中心に地域に集積する大学・研究機関と産業界の橋渡し役として、また中小企業・ベンチャー企業の総合的な支援機関として活動してきました。

また、平成30年度から5年間の取り組むべき施策や目標を定めた第5期中期計画を策定し、施策の推進を通じて、生産性の向上や産業技術の高度化、活力ある地域企業群の創出・育成に寄与することとしています。

この計画に示された施策を着実に進めていくと同時に、ポストコロナの時代の北九州市の産業基盤の更なる強化や新たな産業の創出を通じたニューノーマルの構築に全力を傾けてまいりたいと考えています。

関係機関や地元企業の皆様の一層のお力添えをお願いいたします。

最後になりますが、皆様にとりまして、本年がよき年となりますことを心からお祈り申し上げます。

新春放談 北九州の新年を語る

(順不同)

■(公財)北九州活性化協議会 会長 宇佐見 昇

あけましておめでとうございます。

北九州テクノサポートの皆様には、平素より当協議会の運営にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。北九州活性化協議会も平成元年の設立以来、産学官民の連携軸として、時代の変化に合わせて、数々の事業を実施してまいりました。当協議会に多大なご支援を賜りました会員および関係団体の皆様へ、改めて深く感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響により、経済活動が制限され、テレワークやリモート会議等へ仕事のやり方を変えることを余儀なくされましたが、これも新しい働き方への転換の機会を与えてもらったと前向きに捉え、コロナ終息後には、従来の対面式に加えて、新たな発想で取り組み更に効率的な働き方へと進化させていく必要性を感じております。

こうした産業界を取巻く環境が大きく変化してきている流れの中で、当協議会が北九州地域の産学官民の連携軸として編成した「北九州地域産業人材育成フォーラム」が産業人材育成と中堅・中小企業の経営環境の改善に向けた活動を継続してまいります。

北九州地域における中小企業の技術力強化に取り組まれている北九州テクノサポートの皆様が産学連携のコーディネーターとして、また中堅企業のサポートとしての役割が今後ますます大きくなっていくと思われまので当協議会との連携をはじめとして、地域活性化の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後に、北九州テクノサポート様の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

■(公財)北九州観光コンベンション協会専務理事 近藤 晃

新年あけましておめでとうございます。



さて、私は昨年6月に当協会専務理事に着任いたしました。NPO法人北九州テクノサポート(以下、KTS)の皆様には、「西日本製造技術イノベーション」と「中小企業テクノフェア」の中でビジネスマッチングを初めとして多岐にわたるご支援、ご助言を賜り、厚く御礼申し上げます。「ものづくりの街」北九州において長年中小企業向けの産業技術展を開催してまいりましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により初めて開催を中止、オンライン展示会として開催することとなり、出展予定の企業のPRや販路拡大などの期待に十分答えられない1年となりました。

今年は6月に地域産業・企業の事業課題とDX推進をはじめとするソリューションをマッチングする総合的な課題解決フェア「課題解決Expo」として製造技術イノベーション、中小企業テクノフェア、エコテクノの3展を同時に開催し、Withコロナの時代に求められるニューノーマル(リアル+オンライン)に対応した展示会として取り組んでまいります。リアル展示会ならではのセレンディピティといった偶然の出会いも期待できますが、それ以上に出展社は10年以上のコーディネーターの経験を活かしたKTSの皆様による堅実なビジネスマッチングの期待が大きいと感じております。3展の合同開催によりKTSの皆様にはこれまで以上に負荷がかかるとは存じますが、長年の経験と知識により出展社の技術・製品を必要とする最適な企業を紹介いただき、出展社、来場者ともに満足が得られ、北九州の産業の発展に寄与できる展示会となりますようご協力をお願い申し上げます。最後になりますが、北九州テクノサポートの益々のご発展と皆様方のご健勝を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

北部九州・山口地域の企業紹介

地域の産業発展を支える中堅・中小企業様等をご紹介します

■賛助会員・協賛会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR-募集中>
NPO-KTS通信Vol.36 広告3-4



エコアクション21
認証登録番号
0008225



限りある資源を未来に 地球環境に貢献

株式会社コーセイジャパン

当社は照明の省エネ診断を行い、エネルギー削減や照度改善をご提案しております。

従来照明は水俣条約や省エネ法により製造終了が続いております。

現場調査、ご提案から施工、保守まで一貫して行っておりますので、ご相談お待ちしております。

〒800-0315 福岡県京都郡対田町港町8-11
TEL:093-436-6136 FAX:093-436-6141

<http://www.kosei-japan.com>

水銀使用製品の製造終了!
(2020年12月より)



水銀灯

一部の蛍光灯

高効率LED照明



千草ホテル
Chigusa Hotel

北九州市八幡東区西本町1-1-1
TEL093-671-1131
<http://www.chigusa.co.jp>

新春随想



2021年(令和3年) 新春随想 福岡県 商工部 中小企業技術振興課長 吉海 和正

新年明けましておめでとうございます。

NPO法人北九州テクノサポートの会員の皆様には、平素から本県産業の振興に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスは、私たちの生活や経済に大きな影響を与え、図らずもデジタル化の遅れを顕在化させました。

本県では、新型コロナウイルス感染症対策やデジタル化促進として、中小企業のDXの推進や、「新しい生活様式」に関連した製品開発の支援に取り組んでいます。

具体的には、設計・開発・製造技術のデジタル化指導のための機器を、順次、工業技術センター機械電子研究所や生物食品研究所に導入しているところです。機械電子研究所には、設計のデジタル化支援機器として、最適設計探索解析装置や高度解析システムといった機器を設置しています。

また、「新しい生活様式」関連として、同じく機械電子研究所に導入

しました。殺菌装置や飛沫拡散防止の製品開発に対応する試作・評価機器を活用し、ものづくり中小企業による製品開発支援を行ってまいります。

本県の景気は、依然として厳しい状況にありますが、持ち直しの動きも見られ、コロナ禍というピンチをチャンスに変える企業の取組みも見られます。

また、本年10月には、北九州市で体操、新体操の世界選手権大会が、史上初めて、同時期に同一都市で開催されるという明るいニュースもあります。

県としましては、引き続き、技術の高度化や新技術・新製品開発、人材の育成・確保、知的財産戦略などの支援施策を積極的に推進し、厳しい状況を打開できる多様で活力あるものづくり中小企業の成長発展を図ってまいります。

新年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈り致します。

新春放談 北九州の新年を語る

九州工業大学 学長 尾家 祐二

新年明けましておめでとうございます。



NPO法人北九州テクノサポートの会員、関係者の皆様には、平素から本学の産学連携における活動にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、本学の教育研究活動にも多大な影響が生じましたが、産学連携につきましては、推進組織であるオープンイノベーション推進機構の組織

改組を行い、従来からの取組みに加え、産学連携型の教育支援や学内の試験設備の学外利用の促進等にも強力に取り組む体制を構築いたしました。

また、産業界のみならず行政、金融機関、大学等の多様な連携活動を通して、イノベーションの創出を図ることを目的に「九州工業大学 産学官連携推進会」を新設し、企業の皆様に本学の知的資源等を積極的にご活用いただけるメニューを多数揃え、地域社会の発展に貢献してまいります。

更に本学は、未来を身近に感じ、自由な発想で新たなアイデアを生み出すことを目指した取組みとして、学内に無人店舗やローカル5Gの環境を整備しており、企業が抱える社会的課題の解決に向けた先端技術の実証実験の場も展開しております。

本年も高い社会的価値を備えた教育研究活動に取り組み、新たな価値の創造を目指した活動を行ってまいります。最後になりましたが、北九州テクノサポート会員の皆様には、本年も変わらぬご指導・ご支援をお願い申し上げますとともに、良き年となりますことを心からお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春放談 (賛助会員様)

株式会社コーセイジャパン 代表取締役 安陵 範浩

新年明けましておめでとうございます



NPO法人北九州テクノサポートの皆様には、平素より会員企業へのサポートを頂き、厚くお礼申し上げます。

旧年は、新型コロナにより展示会が中止になり、対面での商談機会を失い残念な1年でありました。

今年もまだ油断できませんが、ソーシャルディスタンスを維持し、ビジネスマッチングが出来ることを願います。

さて、当社は福岡県苅田町に本社を置き、省エネ照明事業を25年行っております。照明用電子安定器からスタートしましたが、10年前からはLED照明を主流に、事業者様へ省エネ提案をしています。

水俣条約により昨年12月で水銀灯は生産終了となりました。

また温室効果ガス排出抑制等により、LEDの普及は加速しております。その中で、ビジネスフェアでの北九州テクノサポート様の支援は有益であり、これからも継続して頂きたいと思っております。

また昨年からは、農業分野へのLED照明の開発にも取り組み、八幡西区の福岡県工業技術センター機械電子研究所様と共同開発を行っております。

イチゴ電照用LED照明は農家様での実証実験も行っており、効果を楽しみにしております。

最後になりますが、北九州テクノサポートの皆様並びに会員企業様のご多幸と益々のご活躍を記念いたします。

北部九州・山口地域の企業紹介

地域の産業発展を支える中堅・中小企業様等を紹介いたします

賛助会員・協賛会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>

NPO-KTS通信Vol.36 広告5-6

すなおに謙虚に無限の未来をひらいていこう

株式会社 豊洋製作所

MS LAB ISO 9001 12938-1認定

水栓金具部品 医療機器部品

水栓金具部品及び医療機器部品の開発・製造にISO品質マネジメントシステムを適用した仕組みを実践

◆代表者: 取締役社長 小河原 悟
◆本社・工場: 福岡県京都府苅田町鳥越町1-44
TEL 093-436-5200
FAX 093-436-5207
URL <https://www.hoyo-s.co.jp>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

工場 W エコ

エコロジー & エコノミー

安全で持続可能な社会のための戦略・システム・ソリューションを提供

20年以上新油差込みを維持!

約90°Cが約10°Cに!

工業用オイル 高性能濾過装置

工場経験豊富なエネルギー管理士がお客様視点でお手伝い

株式会社 エステック21

〒811-4343 福岡県遠賀郡遠賀町田園3-2-27
TEL & FAX: 093-293-6431
E-mail: info@s-tech21.biz
URL: www.s-tech21.biz/

技術経営ものづくり支援グループが発起し、よろず相談窓口を設けました。

様々な企業・や団体様からのニーズにKTSの力を合わせて解決への糸口を見つけて行こうという想いでスタートしました。これまでも日々、会員が接しているお客様の悩み事に少しでもお役に立つよう取り組んで参りましたが、会員自身では専門技術面等に対応力が不足している場合でも気軽に相談できる窓口としての役割もあります。窓口開設から半年近く運営した結果、5件ほど相談が寄せられました。その内容は

- ①自社の営業を手伝ってもらえる方、特に企業OBで技術に詳しい方を探している。
- ②新商品に使用するアルミ部品の切削加工ができる会社を紹介してほしい。
- ③台風10号で煙突が倒れ、炉の操業が出来なくなり応急処置をしたい。
- ④現在、やけど防止として植毛加工で対処しているが、最新の技術で代替できないか。
- ⑤北九州地域における高性能遮熱シートの認知度拡大と販売支援のお願い。



といったものでした。早速、動き始め、会員へ周知したところ、会員から様々な情報が得られ成果に結びついた事例も出てきました。③の煙突については、市内の企業を紹介し迅速な対処ができた感謝のお言葉をいただきました。②は多数の情報をいただき、依頼者に伝えました。④、⑤は双方を結び付けることで解決にならないか?と思いつきマッチングとして進めています。皆様からのご相談をお待ちしておりますので、お気軽に申しつけ下さい。

提出先: npo-kts@npo-kts.org Or tsuyoshi-yoshida@nifty.com 宛て電子メールで送付して、電子メールが受信できない場合は 093-873-1453 へ FAX して下さい。

NPO 法人北九州テクノサポート(KTS) よろず相談票

※未枠内に必要事項をご記入下さい

相談者	企業名	〒	相談日
	住所		
	氏名	役職	
	電話番号	FAX番号	
	e-mail		
相談分野	技術関係: 1.機械・材料・化学・樹脂 2.環境・エネルギー 3.工 4.情報関連 5.分析・計測技術		
	工場関係: 1.工場管理 2.工程改善 3. QS 4.品質管理 5. 営業・販売: 1.販売 2.営業企画 3.その他 人材関係: 1.企業OB 2.特定専門職 3.コーディネータ 4.その他		
Key Word			
相談内容を具体的に記入下さい			

よろず相談の連絡先
info@npo-kts.org (NPO-KTS代表)
tsuyoshi-yoshida@nifty.com (吉田剛)
 TEL&FAX 093-873-1453

■エコアクション21地域事務局環境未来の活動状況■

責任者 西 哲郎

エコアクション21については、次のような行事が行われています。

- (1)エコアクション21導入セミナー並びに集合コンサルティング・実践講座を、開催しました。山口県産業廃棄物協会、やまぐちエコ市場、福岡県(飯塚市、北九州市)にて開催、新規認証・登録事業者の拡大を図っています。(添付写真参照)
- (2)九州・山口・沖縄地域のエコアクション21審査員を対象に、10月31日、「力量向上研修会」を、当事務局主催で開催しました。今回は、コロナの感染問題より、リモートZoomで開催し、60人を超える参加(審査員及び地域事務局員)があり、北九州市のSDGsの取組状況等の講演を頂き、それをもとに審査員としての取組について議論を行い、活況を呈しました。
- (3)10年以上の長年にわたりエコアクション21に取り組んでこられた全事業者に対し、中央事務局から感謝状と記念品とが贈呈されました。当地域事務局扱いの



- 事業者では30社が贈呈対象となりました。
- (4)認証取得事業者様に対するフォローアップセミナーを、リモートZoomにて開催しました。事業者様の活動支援、相互研鑽の成果を挙げるのが目的です。そのほか福岡市、佐賀市でも共催しました。
- (5)北九州市長感謝状授与制度は9年目を迎え、今年度は(株)新門司建設、(有)末広工業、九和設計(株)の3社が「環境にやさしい取り組みを行い、成果をあげている事業者」として、北九州市長から感謝状及び記念品が授与されました。
- (6)認証・登録事業者は全国でおよそ8,000社となり、当地域事務局環境未来では約330社を御世話しています。地球環境保全のために、中小企業の皆様エコアクション21の活動に参加され、二酸化炭素等の温室効果ガスの削減他に取り組まれることが今後ますます不可欠となってきています。一社でも多くエコアクション21の認証を取得されますようお願いいたします。

北部九州・山口地域の企業紹介 地域の産業発展を支える中堅・中小企業様等をご紹介します

■賛助会員・協賛会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
 NPO-KTS通信Vol.36 広告7-10

「元気で住みやすいまちづくり」

北九州活性化協議会

展示会に出る。新しいビジネスに出会う。

西日本総合展示場・新館

西日本製造技術イノベーション 中小企業テクノ

西日本製造技術 検索 中小企業テクノ 検索

がっちりガードして、耐風力・防犯力・操作性・耐久力が大幅アップ

中柱固定装置ザガードマン 新発売!

当社開発/特許取得製品

安全・安心、シャッター設置・修理

有限会社 やまもと

〒805-0050 北九州市八幡東区春の町3丁目1-9
 TEL 093-681-6360 FAX 093-681-6818
 フリーダイヤル 0120-117-914(市内)
 URL <http://www.s-yamamoto.jp>

新製品 多言語翻訳放送装置

手軽にその場で翻訳! すぐ放送!

QuaVoice クアボイス

◆4か国語でその場の状況を即時に伝えられます。
 ◆訪日外国人へ安全・安心サービスを提供!

<http://kanno.co.jp>

株式会社 カンノ製作所 [本社] 〒802-0022 北九州市小倉北区上高野1-5-25
 TEL (093)521-9531 FAX (093)511-6470 JR (091)3111 創業90年

産学官連携人材育成支援グループ長 影山 隆雄理事

北九州地域産業人材育成フォーラムとの協働

NPO法人北九州テクノサポートは、北九州地域産業人材育成フォーラムが推進する地域連携インターンシップの受入れ先モノづくり企業の開拓と理系大学・高专との調整等をコーディネーター役として担っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、対面に代わり電話とメールでの企業開拓になったことや、昨年度、学生が企業を直接に知る機会として好評だった企業研究会が中止になったことに加えて、大学や高专でオンライン授業が続いていることの影響は大きいものがありました。

フォーラム事務局もこの影響を軽減するため募集期間の延長やホームページの改善などを実施しましたが、研修型(短期)では登録企業数が62社に減少したことに加えて、参加学生が36名と少なく、受入決定企業が21社に留まりました。

実践型(長期)では11月末日において登録企業数が8社でしたが、オンライン授業が続いている影響で参加学生が5名と少なく、受入決定企業が3社に留まっています。

販路開拓ビジネス支援グループ長 藤原 利久理事

(公財)北九州観光コンベンション協会との協働

(公財)北九州観光コンベンション協会主催の展示会でのビジネスマッチング(BM)支援事業であり、地元企業の「中小企業テクノフェア in 九州(第1回:2009年10月)」とその成果(出展企業30社⇒60社へ拡大、来場120社)に加え、6月実施の全国の大手企業の展示会「西日本製造技術イノベーション展」(出展企業40社⇒50社)はIoTやロボット企業も加え、来場企業は90~100社/回となり、KTSコーディネーターは16~19名でB2Bを中心とした対面BM活動を展開し成果をあげました。

しかし昨年はコロナ問題が発生し、イノベーション展は見送り、テクノフェアはオンライン開催(出展社30社(無料展示))、KTSはオンライン展示練習(9月、10名参加)、10月実施のオンラインによる出展社シーズ説明会(3日間)は12名の参加、オンライン展示は2020/9~2021/2の開催で、これまで10名のコーディネーターが活動して参りました。

尚、本年は「中小企業テクノフェア」と「西日本製造イノベーション展」が6月30日~7月2日に従来通りの対面展示会として同時開催を決定しており、これまで以上に新しい展示の開拓やKTSコーディネーターの増員や効果的なビジネスマッチング活動が求められています。

北部九州・山口地域の企業紹介
地域の産業発展を支える中堅・中小企業様などをご紹介します

■賛助会員・協賛会員の広報コーナー

<製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中>
NPO-KTS通信Vol.36 広告11-16



【取扱製品】

鉄道用分岐器、継目板、
トンネル用H形支保工、
九鉄式フックボルト、タイプレート、
鉄道車輛部品、レール溶接工事、
各種照明器具



九州鉄道機器製造株式会社

〒800-0028 北九州市門司区下二十町2番30号
<http://www.kyutetsu.com>

感謝を忘れず気持ちを新たに

SIC 有限会社 ICS SAKABE



URL : <http://www.robot-kitakyu.com>

プロフェッショナルを目指す若手エンジニアを応援しています!

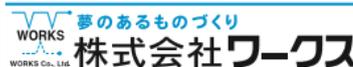


〒802-0061
福岡県北九州市小倉北区三郎丸1-12-17
TEL : 093-932-7480 FAX : 093-932-7481
Email : info@icssakabe.com
URL : <http://www.icssakabe.com>

ガラスレンズ金型 (超硬合金製)



次世代移動通信技術
『5G』に使用されるレ
ンズを製造するには弊
社の『超精密加工技術』
が必要です。1/1000mm 以下



〒811-4321 福岡県遠賀郡遠賀町虫生津 1445-1
TEL : 093-291-1778 FAX : 093-291-2728

Matsushima
Matsushima Measure Tech



「現場の見える化」を実現する

株式会社 マツシマ メジャテック

〒807-0837 北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号
TEL 093-691-3731 FAX 093-691-3735
URL <https://www.matsushima-m-tech.com>
E-mail sales@matsushima-m-tech.com

ステンレス・アルミニウム・チタン

金属研磨で“価値”を与える会社



〒818-0131 福岡県太宰府市水城6丁目31-1
TEL : 092-928-3733(代) FAX : 092-928-5430(代)
e-mail : info@toyo-kenma.co.jp
HP : <https://www.toyo-kenma.co.jp/>

- 特徴 1
安全・迅速
- 特徴 2
3D 同時計測
- 特徴 3
高精度
- 特徴 4
直感的!!



30倍ズームカメラ
赤外線熱画像撮影
(サーモカメラ)



計測検査株式会社

北九州市八幡西区陣原 1-8-3
TEL : 093-642-8231

■技術経営ものづくり支援Gr.の活動

Gr.長 吉田 剛

KTS内外の連携強化をスローガンに支援活動を促進し、地場企業と接点を拡大中です。

- (1) **人材紹介**；別のKTS活動で企業訪問時に、経営課題等を伺う中で、人材募集の話から、適任と思われる人が浮かび紹介したところ、同社に採用されることになり同時にKTSに入会して頂きました。
- (2) **他の外部組織との連携**；賛助会員(有)やまもと様より紹介のあった異業種交流のNPO法人プレミア会(小倉・八幡で開催)でKTSをPRし、地場の企業家と連携を模索しています。
- (3) **九工大産学連携とコラボ**；販売、資金確保など、KTS関係者とコラボし支援中です。
 - ①K社の新商品開発の開発資金確保やマーケティングの支援を開始。
 - ②鞍手古民家再生で犬と高齢者の触れ合いの場を設け、そこで障がい者雇用の場を作る計画があり、環境・省エネ支援Grと協力して支援開始。
 - ③I社より、コロナ禍対処等、病院の消毒が出来る紫外線照射ロボットの活用先探しやリハビリ支援ソフトの適用先として病院等で効果の実証をしたいとの要請があり、専門性のある会員を通じて病院関係を探索中。

■産学官連携人材育成支援Gr.の活動

Gr.長 影山 隆雄

- (1) **地域産業人材育成支援事業**；活動内容は、Topics 3. を参照して下さい。
- (2) **SDGs勉強会活動**；ビジネスの世界では、SDGs(Sustainable Development Goals)の活用がリスク回避と新規事業創出による持続可能性の観点から注目を集めています。この動きに対応して中小企業の成長を支援し、北九州・山口地域の一層の発展を目指すNPO法人北九州テクノサポート会員の自己研鑽の場として、2019年10月にSDGs勉強会を立ち上げて、行政や企業関係者の参加を得て今年度も6月から隔月で3回開催しています。

■環境・省エネ支援Gr.の活動

Gr.長 石井 剛

- (1) **環境助成事業**(SDGs3,6,12)；北九州市・県内の自然環境保護や有効活用等の技術的な検討を実践し地域の活性化に貢献しています。例えば荒竹林材から作った乳酸発酵竹粉の投与法を指導し八幡西区・直方市・中間市等で野菜に投与後、増量効果で地域に貢献しています。現在、新たに樹木に投与中です。
- (2) **省エネ支援事業**(SDGs3,6,7)；九州地域エネルギーシステム会議と熱エネルギーの活用法の事例の調査・研究の情報を共有しています。現在、県・市で取組中の「未利用エネルギー活用」は、引続き、ひびき地区のコークス会社の排熱利活用をFAISと共に協議し、実施可否を調査中です。オンライン開催となった今年度のテクノフェアでは出展企業の省エネ型商品の地元への商談・採用に結びつける活動を推進しています。民間企業の省エネ補助金制度を活用し地元企業へ熱交換器等の熱遮蔽板設置や省エネ機器導入の支援をしています。

■販路開拓ビジネス支援Gr.の活動

Gr.長 藤原 利久

- (1) **ビジネスマッチング事業**；活動内容は、Topics 3. を参照して下さい。
- (2) **商工会議所や大学との連携**；商工会議所(北九州・苅田・行橋・下関等)や大学等(西工大・北九大)及び企業団地等との連携が重要となります。特に北九州商工会議所・苅田商工会議所等や中小企業等との連携及び協働事業の再構築が必須であり、中小企業の抱える技術課題や改善への支援を北九州テクノサポートの重点課題のひとつとして取り組んでいます。コロナ対策はじめ、地区行政の課題については、商工会議所及び西工大等との連携強化の取り組みを進めています。

■IT活用支援Gr.の活動

Gr.長 影山 隆雄

- (1) **新型コロナ禍対応のためテレワーク環境整備**；新型コロナウィルスの感染防止のため、2020年3月からSkypeやZoomの導入を図ると共に電子メールの転送機能の拡充、Microsoft 365 Businessを通じたクラウドの活用などテレワーク環境の整備を図っています。
- (2) **NPO-KTSホームページ全面改版と維持管理体制強化**；昨年度から体制を強化して、ホームページの見直しを実施してきた。本年度は、メンバー紹介や入会案内、会員のページ、新着情報、賛助会員並びに協賛会員企業様紹介等の全面的見直しを実施しました。
- (3) **「第4次産業革命」勉強会活動**；第4次産業革命は、IoTやAI、サイバーフィジカルシステム(CPS)など高度なICT技術によって生産性向上と顧客価値創造を目指すもので、最近ではDXの波に繋がっています。会員だけでなく行政や中小企業の皆様の自己研鑽の場を2016年1月に立ち上げてから4年間にわたり隔月開催で継続しています。

令和2年秋の叙勲ニュース

当NPO法人の会員で理事の坂田一則氏が“瑞宝単光章”を受章、令和2年11月6日に福岡県知事より勲記勲章の伝達がありました。

★ご本人からのメッセージ

図らずも瑞宝単光章の受章の栄誉に浴し身に余る光栄に感謝しております。お蔭をもちまして今後はこの栄誉に恥じることなきよう、健康に留意しご芳情に報いたいと存じますので、何卒一層のご厚誼ご鞭撻を仰ぎたくよろしくお願い申し上げます。末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念致しますとともに、KTS活動につきましても更なる注力を行ってまいります。



西日本新聞朝刊
北九州版(2020.11.3)

北部九州・山口地域の企業紹介

地域の産業発展を支える中堅・中小企業様等をご紹介します

■賛助会員・協賛会員の広報コーナー

＜製品、技術、開発、人材などに関するPR←募集中＞
NPO-KTS通信Vol.36 広告17-20



環境づくりに心をこめて

株式会社 守恒造園建設



◆地域密着の循環システムの推進



◆社会貢献

＜事業品目＞

造園工事・環境事業・きのこファーム

(本社) 北九州市小倉南区志井鷹羽台4番3号
TEL 093-962-4211 FAX 093-962-4272 URL <http://www.morizou.info/>



株式会社リョーワ

北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号
AIMビル8階 TEL 093-522-0077





<http://www.e-ryowa.com/>

ベテラン目視検査員の
暗黙知を認識知に!

従来の画像処理で出来なかったことが可能に!

僅か30枚の良品画像で機械学習できる
画期的なAI外観検査システム

担当 津田 貴史

ベストプランを
ご提案します!



三栄機工株式会社
福岡県知事許可(般-21)第99106

<http://www.sanei-kikou.com/>

選別機械 / コンテナ製作
搬送設備 / リサイクル設備
コンベアカバー



一般小荷物搬送設備

設計・施工・修理・メンテ

福岡県京都郡苅田町若久町3-22-5 TEL 093-434-2737

会員募集

随時受付

★ 北部九州、山口地域の企業様 ★
経営・技術等の御社課題を協働で解決しませんか!

★ 第一線をリタイヤされた皆様 ★
あなたの経験や知識・技術、人脈を活しませんか!

NPO法人
北九州テクノサポート

TEL 093-873-1453
e-mail Info@npo-kts.org

計測検査株式会社

令和2年12月、影山理事と林理事が同社を訪問して、坂本 敏弘社長からお話を伺いました。

■会社の沿革と業況

当社は、昭和49年に総合的設備診断を行う会社として北九州市に設立しました。非破壊検査、応力・振動測定、金属組織・成分分析そしてトンネルの壁面を撮影し、変状や形状を解析し、トンネルの健康状態を見える化する業務を行っています。



坂本 敏弘社長

高度成長期に建設された多くの社会インフラは、予防保全の考え方を導入した維持管理・更新の手法により、費用の縮減を図ることが喫緊の課題になっています。三菱電機(株)様と共同開発した時速80kmの高速走行によりトンネル

壁面の撮影と形状解析ができる車両(MIMM ミーム)を3台保有して全国のトンネルの計測調査を行っています。平成31年2月に改訂された国土交通省の「道路トンネル定期点検要領」では近接目視を基本としながら、近接目視と同等の健全性の診断を行うことができる技術導入が推進されています。MIMMは健全性の診断支援技術の一つとして登録されています。



トンネル壁面計測走行中のMIMM

■今後の展開

平成元年度の北九州e-PORT2.0新ビジネス創出支援補助金の選定を受けた当社の「クラウドAIでのコンクリート構造物の変状自動抽出サービス」は、MIMMから得られる膨大な画像



本社

からAI技術を駆使して精度良く高速にひび割れ箇所を検出するためのものです。公的機関でのインフラ維持管理の画像処理比較において当社の技術が最も高い評価を得ていますので、今後は、国内外にサービス展開を行います。



ドローン監視カメラ

■KTSへの期待

中小企業は日々、新製品、新技術、新事業の開発を行っています。KTS会員様の人脈、技術を活かし、中小企業で不足している部分の幅広いご支援をお願いいたします。

◇ 計測検査株式会社

- 所在地: 北九州市八幡西区陣原1丁目8番3号 TEL:093-642-8231
- 代表者: 代表取締役 坂本 敏弘 ■創立: 昭和49(1974)年11月1日
- 資本金: 3,000万円 ■従業員数: 130名
- 事業: 1.非破壊検査 2.材料評価 3.構造解析 4.応力測定 5.振動測定
6.土木計測 7.環境関連計測 8.トンネル等コンクリート構造物の健全性調査
- URL <http://www.keisokukensa.co.jp>

東洋ステンレス研磨工業株式会社

令和2年12月、影山理事と林理事が同社を訪問し、門谷 豊社長からお話を伺いました。

■会社の沿革と業況

当社は、社長の祖父である門谷 博が住友金属工業(株)/日本ステンレス(株)を退職後、「研磨技術を深く研究し、ステンレス素材の可能性を無限大に広げることが当社の使命であり、存在価値である。」との創業精神で昭和41年5月に創業しました。業務が拡大したのは、1990年代、シリコンアイランド九州に展開する半導体設備産業との取引において研磨技術だけでなく管理技術も鍛え上げられたからです。



門谷 豊社長

その卓越した技術から世界の建築家・デザイナーからの賞賛を得て指名発注を受けています。そして近年は、B2Bの受託型ローカルビジネスを、デザイン経営の視点を取り込んで、更なる飛躍に挑戦して、自社ブランド「MAKO」を立ち上げ、アートやテクノロジーを取り込んだ製品開発をはじめ、DX(デジタルトランスフォーメーション)をベースとした新たな情報発信や売り方の工夫も重ね、社内組織が一丸となって次期市場での成長



本社工場

に取り組みんでいます。同社門谷 誠会長は、令和元年秋の受勲において各分野で顕著な功績のあった人に授与される「旭日単光章」を受賞しています。

■今後の展開



日本製鉄様共同開発

最近、産業新聞や西日本新聞で紹介されましたように、日本製鉄(株)様と共同で日本初チタン製六葉を社殿向けに開発致しました。今後は、このチタン製建築金物において様々なデザイン・意匠で幅広いアイテムに展開することで、日本の文化を守ると共に海外に提案することを目指します。そのための課題は、さらなる技術研究開発と人材育成にあると考えています。

■KTSへの期待

真空電子技術に関する支援を引き続きお願いしたい。

◇ 東洋ステンレス研磨工業株式会社

- 所在地: (本社)福岡県太宰府市水城6丁目31-1 TEL:092-928-3733
- 代表者: 代表取締役社長 門谷 豊 ■創立: 昭和43(1968)年1月5日
- 資本金: 3,500万円 ■従業員数: 34名
- 事業: 素材研磨加工、複合研磨加工(繊細意匠研磨加工、機能性付加研磨加工、大型建造物意匠研磨加工、意匠性被膜堆積加工、高耐食薄膜コーティング加工)、MAKOブランド意匠商品の製造・販売
- URL <http://www.toyo-kenma.co.jp>

会員動静 (2021年1月10日現在)

正会員	賛助会員	協賛会員
73名	法人:12、個人:0	7

理事会組織

会長	吉田 剛
事務局長	小林 敏郎
副会長	影山 隆雄、藤原 利久
理事	石井 剛、坂田 一則、佐藤 保、徳永 昌哉 西 哲郎、林 慶三郎、藤崎 正昭、古谷 長蔵 松隈 斉、松本 昭喜、渡邊 朝子(溝手 朝子)
監事	石川 浩、重藤 将美 (理事・監事50首順)

活動グループ

- ・技術経営ものづくりGr.
- ・産学官連携人材育成支援Gr.
- ・環境・省エネ支援Gr.
- ・ISO・EA21支援Gr.
- ・IT活用支援Gr.
- ・販路開拓ビジネス支援Gr.
- ・広報・デザイン支援Gr.

編集後記



今回発行号はコロナ禍状況でもあり冊子訪問配付の是非を熟慮致しました。その結果、Vol.32((H31冬号)で実施した読者様アンケートでの冊子配付希望が6割超だったことや、KTS事業活動の基本はご関係先とのFace to Faceによる協働が基本であること等を踏まえ、従来通り冊子のご提供をベースとして取り進めることと致しました。もちろんPDF版のメール配信や、KTS-HPへの掲載によるご利用も従来通り行えます。現時点では年2回(冬号・夏号)の定期発行ですが、読者様寄稿の増強を含む誌面見直し等についても皆様のご意見をお伺いしながら一層発展した誌面作りや各位のご参加環境づくりの強化を進め、産学官民の皆様方、正会員、賛助・協賛会員各位に喜んで頂ける情報誌のご提供を目指して参ります。(編集者)



検索 北九州テクノサポート

<http://www.npo-kts.org/>

正会員・賛助会員の申し込み受け付け中

ホームページから申込用紙をダウンロードできます。

NPO法人 北九州テクノサポート
広報誌「北九州テクノサポート通信Vol.36」

2021年1月10日 発行

編集・発行: NPO法人北九州テクノサポート(広報・デザイン支援Gr.)

北九州市戸畑区中原新町2-1 北九州テクノセンタービル 806号

TEL/FAX:093-873-1453 E-mail:info@npo-kts.org